

令和5年度 地域包括ケア事例研究会

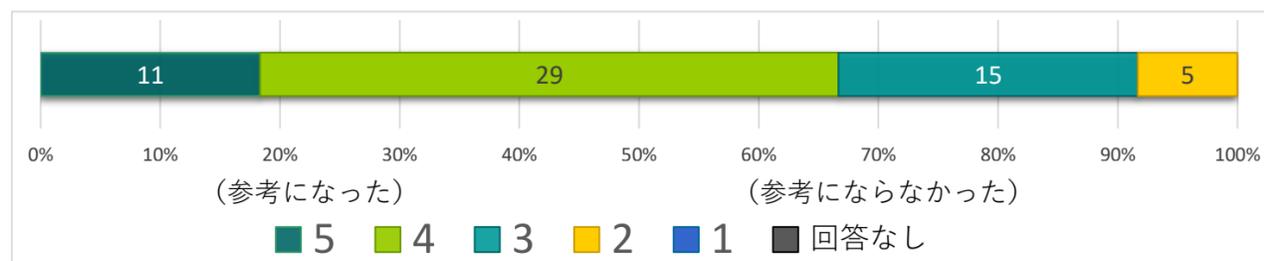
～生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置事業及び協議体の設置・運営～

アンケート集計結果

日 程：令和5年7月10日(月) 13時30分～16時30分
会 場：さいたま新都心合同庁舎1号館1階 多目的室
参加人数：61名(都県8名)
アンケート回収率：98.4%



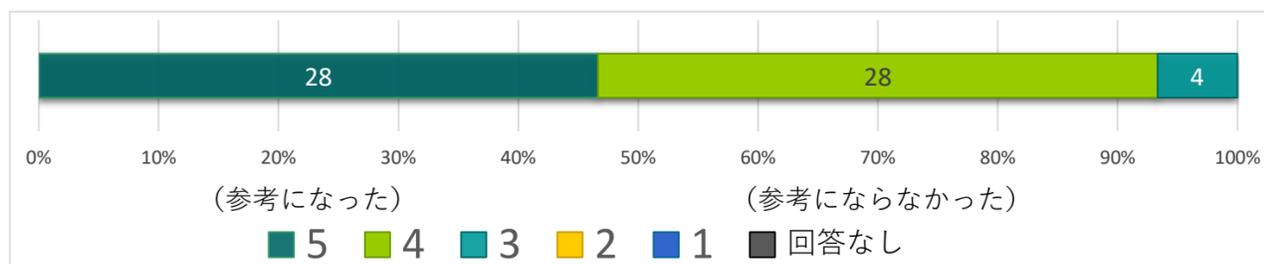
1. 『2 行政説明』について、5段階の中からお選びください



※自由記述 24本

- 介護保険を取り巻く現状から今後について、数値を見ながら理解することができました。
- 地域包括ケアシステムについて、地域で説明する時の参考になった。
- 改めて高齢化の中での行政のあり方を考えさせられた。

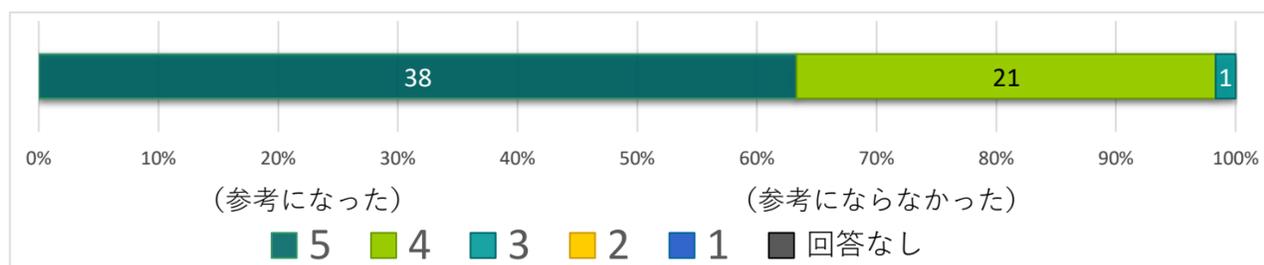
2. 『3 講演』について、5段階の中からお選びください



※自由記述 19本

- 「住民主体」の意味とその大切さを学ぶことができた。
- 「主体的にやりたい人に働きかける」というのが新しい視点だった。
- 自身の市だったらどう工夫して展開すべきかを考えられた。

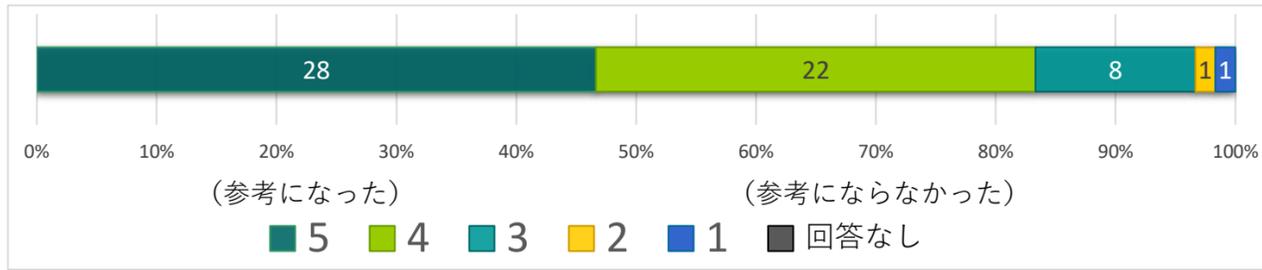
3. 『4 事例紹介』について、5段階の中からお選びください



※自由記述 24本

- 3層まで進んでいる！すごい、もっともっと頑張らなければと感じました。まだやれる！
- 第3層があるのを初めて知りました。勉強会などやる気のある人を支援するために必要であると思いました。
- 自身の市と大きな差異があることを学んだ。その上で、まだ何かできることがあるのではないかと思えた。

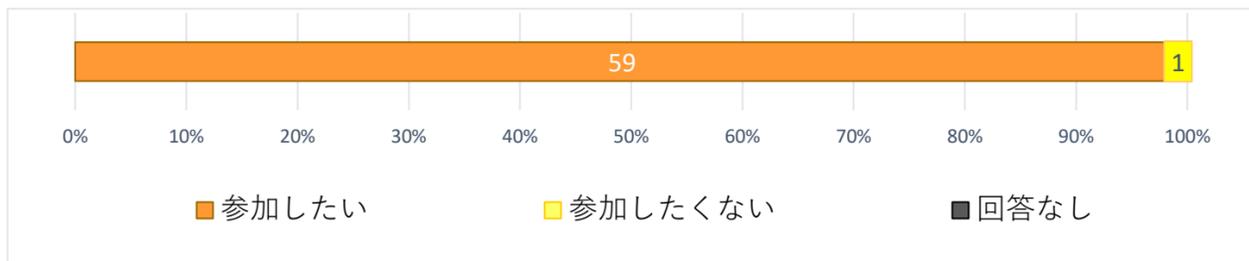
4. グループワークによる意見交換は、今後の業務に活用できる内容でしたか



※自由記述 25本

- 普段一緒に研修等では会えない方との意見を聞くことができ良かった。付箋によるディスカッションが分かりやすかった。
- みんな悩んでいることが同じだと感じた。情報交換することで何かヒントが得られると思いました。
- 市町村行政、SCの声(悩み事など)が聞けて良かったです。情報共有の場が大切なんだと実感しました。

5. 今回のような事例研究会にまた参加したいと思いますか



※自由記述 30本

- 他市町村の方と様々な行いや施策を知ることができ、いい学びとなるため。自身の市で悩んでいる施策についてアドバイスを受けられたので良かった。
- オンラインではなく、対面で、他地域の方と情報交換できる機会は貴重だと感じます。
- 他の市町村でどのような取組をしているのか知ることができ、自分の市にも活かさないか情報を集めることができる。

6. 本日の事例研究会の感想、今後取り扱ってほしいテーマについてのご意見等をご自由にご記入ください

※自由記述 26本

- 普段研修でも一緒にならない市町村の話を聞くことができ、勉強になりました。
- 圏域を越えたところでの実践を直接伺えるのはとても学びになります。このような機会を設けていただき、ありがとうございます。
- 生活支援体制整備事業だけでなく、包括やケア会議、介護予防などすべてにつながると感じました。全担当が参加できるような場、研修があると良いと感じました。